

産業水道常任委員会会議記録

日 時 平成28年3月22日（火曜日）

午前10時 2分 開議

場 所 水戸市議会 第2委員会室

午前10時52分 散会

付託事件

議案第8号，議案第25号中第1表中歳出中第5款，第6款，第7款及び第11款中産業水道委員会所管分並びに第3表債務負担行為，議案第27号，議案第28号，議案第29号，議案第36号，議案第39号，議案第41号中第1表中歳出中第5款，第6款及び第7款，議案第43号，議案第44号，議案第49号，平成28年請願第1号

1 本日の会議に付した事件

(1) 議案審査

- ① 議案第8号 水戸市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例
- ② 議案第25号 平成28年度水戸市一般会計予算中第1表中歳出中第5款（労働費），第6款（農林水産業費），第7款（商工費）及び第11款（災害復旧費）中産業水道委員会所管分並びに第3表債務負担行為
- ③ 議案第27号 平成28年度水戸市公設地方卸売市場事業会計予算
- ④ 議案第28号 平成28年度水戸市駐車場事業会計予算
- ⑤ 議案第29号 平成28年度水戸市農業集落排水事業会計予算
- ⑥ 議案第36号 平成28年度水戸市水道事業会計予算
- ⑦ 議案第39号 水戸市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ⑧ 議案第41号 平成27年度水戸市一般会計補正予算（第7号）中第1表中歳出中第5款（労働費），第6款（農林水産業費）及び第7款（商工費）
- ⑨ 議案第43号 平成27年度水戸市公設地方卸売市場事業会計補正予算（第1号）
- ⑩ 議案第44号 平成27年度水戸市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）
- ⑪ 議案第49号 平成27年度水戸市水道事業会計補正予算（第2号）

(2) 請願審査

- ① 平成28年請願第1号 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

2 出席委員（7名）

委員長	栗原文隆君	副委員長	小川勝夫君
委員	綿引健君	委員	鈴木宣子君
委員	田口文明君	委員	渡辺政明君
委員	内藤丈男君		

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（4名）

議 長	村 田 進 洋 君	議 員	中 庭 次 男 君
議 員	安 藏 栄 君	議 員	高 橋 丈 夫 君

5 説明のため出席した者の職、氏名

副 市 長	橋 本 耐 君		
産業経済部長	飯 村 健 一 君	産 業 経 済 部 参 事 兼 商 工 課 長	小 田 木 健 治 君
産 業 経 済 部 参 事 兼 農 政 課 長	吉 川 茂 重 君	観 光 課 長	小 川 邦 明 君
農 業 環 境 整 備 課 長	弓 野 憲 一 君	農 業 技 術 セ ン タ ー 所 長	大 峰 正 美 君
公 設 地 方 卸 売 市 場 長	綿 引 正 治 君		
水 道 事 業 者 管 理 者	倉 田 喜 久 男 君	水 道 部 長	関 徳 彦 君
水 道 部 参 事	伊 藤 俊 夫 君	水 道 部 技 監 兼 料 金 課 長	後 藤 博 次 君
水 道 部 技 監 兼 浄 水 管 理 事 務 所 長	小 田 木 晴 壽 君	水 道 総 務 課 長	小 田 木 義 弘 君
経 理 課 長	青 木 貴 君	水 道 整 備 課 長	米 川 義 雄 君
給 水 課 長	小 林 壽 雄 君		
農 業 委 員 会 事 務 局 長	江 幡 清 美 君	農 業 委 員 会 事 務 局 次 長	清 水 健 司 君

6 事務局職員出席者

書 記	綱 島 卓 也 君	書 記	大 谷 し お り 君
-----	-----------	-----	-------------

午前10時 2分 開議

○栗原委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業水道委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

本日の日程は、議案第8号ほか10件、それに請願1件であります。

お諮りします。この際、当委員会に付託となっております議案第8号ほか10件を一括議題としたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 御異議なしと認め、一括議題とします。

それでは、付託議案については一通りの質疑を行いましたので、これより各議案について御意見等を伺いながら採決に入ってまいりたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

それでは、これより御意見等を伺いながら、採決に入ります。

採決の方法は、挙手によりお願いします。

初めに、議案第8号 水戸市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について、御意見等がございましたらお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第8号について採決します。

議案第8号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第8号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第25号 平成28年度水戸市一般会計予算中第1表中歳出中第5款（労働費）、第6款（農林水産業費）、第7款（商工費）及び第11款（災害復旧費）中産業水道委員会所管分並びに第3表債務負担行為について、御意見等がございましたらお願いします。

鈴木委員。

○鈴木委員 この議案第25号につきましては、賛成の立場から意見を述べさせていただきます。

まず、畜産クラスター事業についてですけれども、今回新規ということで、本当に水戸の畜産業の将来を大きく担う取り組みであると思います。また、この支援は、今回だけではなくて、これからもぜひ続けていただきたいと思います。

また、今回は乳牛の牛舎ということで、やはり今、6次産業化ということで、水戸の乳産品の本当にブランド化、第6次産業化を目指すものとなっていく第一歩になっていただきたいことを要望いたします。

また、特産農産物販売促進事業につきましては、本当に30万円という金額ではありますが、これも同じように、やはり6次産業化を目指す、新しい、本当に青パパイヤ、ゴマという、これから、今世間で

本当に注目しているのは、おいしいもの、また、中身がやっぱり勝負じゃないかな。おいしいものがあればまた買いたいというふうになっていくと思いますので、ぜひとも、これも6次産業化を目指す本格的な第一歩として、またさらに、予算をできる限りたくさん使いながら、ブランド化を目指していただきたいことを要望したいと思います。

また、次は商工課の出していらっしゃる、今回は本当に、中心市街地の活性化ということで、どれもこれも本当に、これからの水戸の中心市街地をどうしていくかという内容になっているかと思うんですけども、本当に、特に新規の事業、また若い人たちを呼び込むためのこの事業については、今までの従来の発想を転換して、若い人たちの発想で、また意欲のある若い人たちを育ていけるような、そういう事業に誘導を図っていただきたいと思います。また、努力していらっしゃる方に光が当たるような、そういう中心市街地の活性化を目指してやっていただきたいことを要望いたします。

あと、観光行政についてなんですけれども、本当に、さまざまなお祭り等がありますけれども、やはり、またこのお祭りを、もっともっと市民の皆様喜んでいただける、そういうお祭りにしていくためにも、さまざまな予算が組まれていますけれども、現状をもっともっと把握しながら、どうすればよくなっていくか。現状を知れば課題は明らかという言葉がありますけれども、本当に、現状把握にさらに努めていただきながら、お祭りを本当に大きく盛り上げていけるように、ぜひとも頑張ってくださいと思います。

以上、要望いたしまして終わります。

○栗原委員長 ほかにございますか。

内藤委員。

○内藤委員 私も議案賛成の立場から、ちょっと意見だけ述べさせていただきます。

6款農林水産業費、木葉下町の森林公園3,800万円。これ、業者に発注していると言いましたよね。この前もちょっとしゃべったと思うんですけども、民間で定年になった方が何十人というと思うんですけども、その辺の山、それから、いろんな森林、そういうところの、昔で言う山刈りというの、きれいにすることをやっている方がいるんですよ、ボランティアで。だから、3,800万円もかけて発注しているなら、できればそういう方とも相談して、そこまでかからなくてもできると思うんだよね。どこまでやっているか私はわからないけれども。探せばわかると思うんだ。うちの近所にもいたと思ったな、そこに入っている人が。そういう人とよく話をして、そして、市のために少し力をかけてもらえないかというようなことで話し合えば、どこかに300万円、500万円で発注しているものだったら、食事代と油代くらいでやってくれるという、そういう方たちがいるので、そういう方とも相談してみたほうがいいと思います。

それから、企業誘致促進事業7,600万円、これも一つ、水戸西流通センターに入ったとはいいますが、今まで1億円ちょっとあったんだよね、去年まではね。これだけお金かけて1社しか来なかった、じゃやめましょうというわけにもいかないんだろうけれども、できるだけ最小限に。相手に頼んだ方がどこまで動いてくれているかにもよるだろうけれども、毎日水戸市のために、東京に住んでいる方が、水戸市からそれを受けたからといって、毎日企業に行き、どうですか、どうですかとやっているとは思えないもんね。

できるだけ、自分たちが知っている会社に行っているんじゃないかと思うんですけども、これ、頼んでい

る方というのは、私、前に聞いたっけか、この話は。水戸の人が向こうに行ってやっているの。こちらにいる水戸の人が、向こうへ行ってやっているわけ。

〔「商工課内で」と呼ぶ者あり〕

○内藤委員 役所なの。これ、民間に発注しているんじゃないの。ちょっとそこだけ聞かせて。

〔「質疑は終わってしまったので」と呼ぶ者あり〕

○内藤委員 じゃいい、わかった。じゃいいよ。

意見だから、これだけかけているんだから、もう少し頑張って水戸に呼ぶとか、もしくは、これだけかからないような方法を考えるとか、どっちか考えてほしいな。

この2つだけ、意見で述べておきます。よろしく。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 議案第25号は一応同意と、賛成の立場で意見を述べさせていただきます。

まず、これは第6款の農林水産業費なんだけれども、ほぼ大体、補助事業なんだよね。この補助事業というのが、どちらかという、お金を出した、補助したというようなことだけで、その後、チェック機能、報告義務というのは、どのような形で進んで、成果が上がっているかというようなことをチェックするという機能と、あとは我々委員会に報告する義務、そういうものが、今までちょっと足りなかったと私は思っていますので、今回も、これ補助では大変だよ、農業農村多面的機能維持事業補助金として1億301万円でしょう。畜産クラスター事業で1億730万円、次のページ返してもらおうと、米・麦共同乾燥調製施設整備支援事業補助金、これはJAさんのほうに上げるんでしょうけれども、これが1億5,500万円、補助事業が多いんだ。だから、補助金があってもいいんだけど、350万円が認定農業者水田規模拡大補助金、水戸の梅産地づくり事業が360万円というふうに、補助事業が非常に多いという中で、そのチェックをするというようなことと、費用対効果ということがあるんだから、例えばクラスターの事業にしても、本当に費用対効果、そういうものをしっかり平成28年度は受けとめていただいて、農業の本当に振興のために、この金が有効に使われているかどうか、私はその辺のチェックをお願いしたいというようなことが、まず第6款のほうね。

第7款商工費のほうなんですけれども、要は、再三話していますように、例えば昨日もリノベーションの何か集まりがあったでしょう。そういう報告義務を、全く今果たしていない。こういうものがあってこうありますよと、昨日のことだから今日は報告できないんですけれども、例えばそういうものが、きちっと成果が上がっているんだか、上がっていないんだか。コワーキングスペースも、3月の頭にスタートしたわけだから、もう1カ月たっているわけだ。例えばこれぐらいの人が来て、こういう人がこんな相談に来ましたよとか、例えばこういう会になりましたとかというものが、例えば4月の委員会等にきちっと報告できるように、これは必要なよ。やったらやりっ放しじゃだめなんだから。やっぱりお金、こんな大きなコワーキングスペースも使っているんだから、そうしたら、やっぱり、商業・駐車場公社がやっているにしても、やはり商工課のほうがかかりした、ディレクターとしての立場をきちっと堅持して、チェック機能を働かせていただきたいというふうに思っております。

細かいことは、全て私は同意しますのでやっていただきたいとは思いますが、先ほど農業のほうでも言った、いわゆる補助事業が、補助金を出せば終わりじゃなくて、その補助が本当に活かされているのかどうかのチェック機能をきちっと働かせていただきたいということを重ねて私は申し上げておきます。

あと、観光行政なんですけれども、観光が、今全国どこの町へ行っても、観光、観光で頑張ってる、どこもやっています。そうすると、やっぱり観光の差別化、区別化をしていかないと、私はいけないのかなと。どちらかというと、観光行政のほうも、いわゆる一つの事業をこなすというのが、私は95%、観光の仕事になっているかと思うんです。大事なのは、今を見て、今やっていることを次の世代、次の時代にどんな形で生かしていくかという一つの構想、それは観光基本計画なんだけれども、計画自体も、どちらかというと、計画をつくっただけで終わってしまって、それを本当に実践していくところがちょっと足りない。梅まつりとか黄門まつりとか、いろいろそういうお祭りをこなすために全精力を使い切ってしまうというふうなことで、大事なのは、次の世代にどういう観光の構想を、きちっとこの観光基本計画に基づいてつくっていくかというようなことであるので、そういうクリエイティブな能力も、これから少し育成して、醸成していったほうがいいですよ。

ちょっと話、余談になりますけれども、19日に、水戸二の丸周辺の歴史的な景観形成、できましたよね。村田議長さんがお見えになっているけれども、そこにお見えになって、御挨拶をいただきながら、県の知事さんも、しっかりこれを受けとめて、水戸の個性を観光行政の中で発揮していきたいと、そういうふうな話もございましたよね。

やはり、私はそういう、今やっているのは、観光とちょっと離れてきていたんですよ。そうでしょう。やっぱり教育的な部分、また生涯学習的な部分、また水戸の個性をどんな形で発揮していくかということで、そのためにいろんな、市民協働でスタートして、ここに至っているわけなので、そういうものを、これからは観光行政でどう生かしていくか。ほかの地域がやっているようなことをやったってしようがないので、水戸独自のそういうものをつくり出す、それがクリエイティブな能力だと私は思っている。観光自体がすごくクリエイティブな能力のよしあしによって、全然違ってくると。そうでしょう。商工行政でやった黒壁なんか、観光行政と相まって、あれだけの話題になったんですから、ちょっと今は下火になっていますけれども、新しいそういう発信をしていくというふうな形の考え方を持ってもらって、観光の差別化をぜひ私は進めていっていただきたいと。

あと、対症療法的な部分の中で、あれやらんくちやならない、これやらんくちやならないということはあると思うんだけど、それは日常的な当たり前の業務というふうに考えていただいて、次の世代に対しての観光のあり方、そういうものをしっかりと受けとめて、私は平成28年度、やっていただきたいなというふうに思います。

ぜひ、新しい何かそういうものを生かした、でき上がってからやるんじゃなくて、でき上がる前から考えるということが大切なんじゃないのかなと思うよ。市民会館だって、できてから何かやろうかなじゃだめで、今のうちから何をやろうかということを考えるのが、この万物の中で考える力を持っているのは人間だけなんだから、そういうものをどう生かしていくかということが、他市との差別化、区別化、競合他市に少しリードを広げるというようなことを考えながら、ぜひ頑張って、28年度やっていただきたいと同時に、こ

れからは観光と商工が連携しなくちゃだめなので、縦割りじゃなくて、そういう行政では、私はなかなか大きな力、パワーとなって結びつかないと思っていますので、そういう連携、もちろんこれ、農業もそうだよ。商工と連携しないとまずいので、そういう連携も、私は、これからの28年度、目に見えるような、そういうパワーアップをぜひお願いしたいというふうなことを意見として述べておきます。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第25号について採決します。

議案第25号中第1表中歳出中第5款、第6款、第7款及び第11款中産業水道委員会所管分並びに第3表債務負担行為について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第25号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第27号 平成28年度水戸市公設地方卸売市場事業会計予算について、御意見等がございましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第27号について採決します。

議案第27号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第27号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第28号 平成28年度水戸市駐車場事業会計予算について、御意見等がございましたらお願いします。

渡辺委員。

○渡辺委員 駐車場のほうなんですけれども、これ、今回の駐車場は赤塚駅北口駐車場だけだったと思うんですね、予算のほうは。要は、残りの6つは、いわゆる民間に指定管理者として委託をしたということですよ。

ですから、そういうものを今度、水戸市商業・駐車場公社の役割というのが非常に縮小された。同時に今度、コワーキングスペースを一つの柱として持ってきたというふうに私は見ております。ですから、コワーキングスペースと駐車場公社とのかかわり、それと商工課の連携、そういうものを平成28年度、しっかり受けとめて見ていきたいと思っておりますので、民間に委託したので、大分数字的には、予算の縮小とか、また利益が上がってくるような話も聞いておりますので、ぜひとも、その辺のチェック等も含めて、私は注目、注視をしていきたいというふうなことで、賛成であります。

以上です。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第28号について採決します。

議案第28号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第28号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第29号 平成28年度水戸市農業集落排水事業会計予算について、御意見等がございましたらお願いします。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○栗原委員長 ないようですので、議案第29号について採決します。

議案第29号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第29号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第36号 平成28年度水戸市水道事業会計予算について、御意見等がございましたらお願いします。

鈴木委員。

○鈴木委員 議案第36号につきましては、賛成の立場から意見を述べさせていただきます。

本当に水戸市は、平成23年の東日本大震災のときも、どこの市町村よりも早く水道が復旧したということで、本当にすばらしいことだと思います。

また、今回の事業一つ一つを見ましても、本当に老朽施設の更新事業、また、応急時に給水拠点になるものということで、本当にどの事業も、やはりいち早く進めて、やっていただきたい内容ばかりですけれども、本当に、特に老朽施設の更新につきましては、楮川ダムのポンプの改善をしていくということで、これも本当に、水戸市の全域にわたる水をここから供給しておりますので、本当に、より一層お金をかけても、いち早くこの更新事業を進めていただきたいと要望いたします。

また、応急時の給水拠点につきましても、いざというとき、また、本当にライフラインが断たれるというのは、市民生活にとっては本当に大変なことでありますので、やはりこの事業についても、今年が平成28年度は設計計画ということですが、これもまた本当に、水戸の将来を担っていく給水拠点になると思いますので、ぜひとも、できるだけ早くつくっていただきたいことを要望して、意見とさせていただきます。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 水道のほうも反対するものでなく、賛成です。

前のときにお話をしましたように、受益者負担というふうなことで、水道料金の決算なんかでもよく出てくるように、収納率のアップというふうなことで、平成28年度、目に見えるような形で収納率を上げていただきたいなというふうなことが一つ要望であります。

ということが、第一環境株式会社のほうに委託しているというふうなことで、この委員会でも平成27年度、種々、論議があったと思うんです。もう少し頑張るようとか、何のための委託なんだとか、そういうふうな部分もあったと思うので、28年度も引き続いて、そういうチェック機能を働かせながら、また、第一環境さんとの連携を深めながら、ぜひ収納率、税の公平、公正さを考えた場合、どうしても、真面目に払っている人といいかげんな人の間の格差が広がらないように、ぜひお願いしたいというふうなことでございます。

あと何か、水の新しい、何かパンフレットをつくるというふうなことでございますので、そういうものの中でも、やっぱり税の公平さというものも大事なんだというようなことをわかるような形の、そういう文言も入っていくべきなのかなというふうに考えておりますので、その辺のところも、できれば市民の方に、しっかりやっている水道部と、今、鈴木委員さんからも話がありましたように、水道は水道一家という形で、本当に皆さん心が通じ合っていて、震災のときも本当、水道が一番最初に復旧したと、インフラの中でもね。そういう実績もありますので、そういうその実績を、今度はほかのパワーにがちり使っていただきたいというふうなことを、28年度希望して意見といたします。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第36号について採決します。

議案第36号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第36号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第39号 水戸市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について、御意見等がございましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第39号について採決します。

議案第39号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第39号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第41号 平成27年度水戸市一般会計補正予算（第7号）中第1表中歳出中第5款（労働費）、第6款（農林水産業費）及び第7款（商工費）について、御意見等がございましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第41号について採決します。

議案第41号中第1表中歳出中第5款、第6款及び第7款について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第41号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第43号 平成27年度水戸市公設地方卸売市場事業会計補正予算（第1号）について、御意見等がございましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第43号について採決します。

議案第43号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第43号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第44号 平成27年度水戸市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）について、御意見等がございましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第44号について採決します。

議案第44号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第44号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第49号 平成27年度水戸市水道事業会計補正予算（第2号）について、御意見等がございましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、議案第49号について採決します。

議案第49号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○栗原委員長 総員挙手であります。

よって、議案第49号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました議案第8号ほか10件についての審査は全て終了しました。なお、この際、本会議における委員長報告書についてお諮りします。委員長報告書の作成については、正副委員長に御一任願いたいと存じますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

それでは、次に、請願の審査を行います。

さきの本会議において、当委員会に付託されました請願は1件であります。

それでは、平成28年請願第1号 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願を議題とします。

本請願につきましては、その写しをお手元に配付してございますので、初めに本請願の内容につきまして、

事務局より朗読させます。

なお、先例申し合わせにより、請願の記載事項のうち、個人が特定できる情報については朗読しない取り扱いとなっておりますので、あらかじめ御承知をお願いします。

○事務局 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願。

2016年2月25日。

水戸市議会議長、村田進洋様。

請願趣旨。

TPP（環太平洋パートナーシップ）協定は2月4日に調印を終え、各国での批准作業に移りました。政府は、交渉過程での秘密主義に続き、大筋合意後もその全容を示さないままTPP対策費を含む補正予算を通し、約2,900ページとされる協定及び附属書の公表も2月2日となるなどきちんと精査する時間も与えないで国会に批准を求めようとしています。国や地域、さらには国民生活にかかわる重大な協定の可否を判断するには、このような拙速な手続きはふさわしくありません。

一方TPP協定は、少なくともGDPで85%以上6カ国以上の批准がなければ成立せず、米国と日本のいずれかが批准しなければ成立しません。今行われている米国大統領選挙の候補者のうち、TPP大筋合意支持は少数派であり、米国の批准は早くても11月の大統領・議員選挙後と見られています。米国の状況とは無関係に、今国会中に成立を目指すのはあまりにも拙速すぎます。

協定の内容も問題です。米麦での輸入枠の拡大、牛・豚肉での関税引き下げなど重要農産品5品目全てで大幅な譲歩を行い、加えて重要5品目の3割、その他農産品では98%の関税撤廃を合意しています。さらには政府が守ったとしている重要5品目の例外も、7年後に米国など5カ国と関税撤廃について協議が義務づけられているなど、今示されている合意は、通過点に過ぎず、全農産物の関税撤廃が迫られるおそれがあります。これでは地域農業は立ち行きません。

また、透明性や規制の整合性確保を理由に、医療を初め健康や暮らしを守るさまざまな規制、制度にかかわる各種審議会に、参加国企業からも意見を表明できる規定さえあります。TPPと並行して行われてきた日米二国間協議では、米国からの規制緩和要求を担当省庁が窓口になって規制改革会議に諮るといふ、主権放棄に等しいことにまで踏み込んでいます。

以上の趣旨から、下記の事項についての意見書を政府関係機関に提出することを請願します。

請願項目。

1、国会決議に違反するTPP協定の批准は行わないこと。

○栗原委員長 それでは、内容につきまして御意見等がございましたら、発言願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 TPPの問題なんですけれども、これ、問題を2つに分けないと、この意見書を出すにしてもね。ということが、いわゆる国と、例えば地方の我々水戸というような部分、2つあると思うんですよ。

世界的な国際的な約束事として、この環太平洋、TPPが2月4日に調印を終えたというようなことで、今度は批准に入ると。この批准も、まだ米国大統領選挙云々とここに書いてありますように、いろいろ今後、紆余曲折があるのかなというような段階、状況ではないかというふうに思っております。

例えば、国の今現況と、それを翻って水戸の現況を見ると、JA水戸さんは反対というふうな立場に立っておりますし、JA茨城のほうもそうでしたよね。反対というような立場をとっておるといふようなところもあります。また、批准が進んでいない、始まっていないような中において賛成、反対を我々委員会で結論づけるのは、ちょっと拙速かなというふうな気がいたしておりますし、また、平成28年度、TPP問題に対する今後の対応の一つとして、先ほど賛成の意見を述べたクラスターも、そういうような部分を踏まえた上での補助金だと私は思っておりますので、さらにこの委員会で、この問題については、慎重に内容等を審査して対応していったほうが良いと、しかるべきですね。

したがって、私は、これは継続で審査をしていくべきではないのかなというふうなことを思っております。

○栗原委員長 ただいま、渡辺委員から継続審査との話がありましたけれども、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 御異議なしと認め、ただいまの平成28年請願第1号につきましては、継続審査といたします。

〔発言する者あり〕

○栗原委員長 御異議なしと認め、継続審査といたします。

本請願につきましては、当委員会から議長に対しまして、閉会中継続審査の申し出をしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 御異議なしと認め、そのように決定させていただきます。

以上で、請願の審査を終わります。

次に、この際、特に執行部から発言を求められておりますので、これを許します。

米川水道整備課長。

○米川水道整備課長 それでは、市有車の交通事故につきまして、水道部水道整備課提出の資料により御報告させていただきます。

1の事故の種別でございますが、市有車と相手側自家用車による衝突事故でございます。

2の事故の発生日時及び場所でございますが、発生日時は平成28年3月1日火曜日午前8時43分ごろ、発生場所は水戸市白梅1丁目9番30号地先、市道駅南3号線でございます。

3の事故の当事者でございますが、市側が水道部水道整備課、_____, 相手側が_____でございます。

4の事故発生原因及びその状況でございますが、裏面の6の事故現場位置図をごらんください。

水道整備課職員、_____は、工事現場に向かうため、市道駅南71号線から市道駅南3号線に進入する際、一時停止線で停止し、左右確認をしましたが、右からの第一車線の車両が左折してきたため、第二車線を直進してきた相手側車両に気づかず進行し、衝突したものでございます。この結果、双方の車両が損傷し、_____在住の相手側が負傷したものでございます。

5の障害及び損害の程度等でございますが、相手側におかれましては、外傷性頸部症候群、頭部打撲傷や腰、背中などの打撲傷を負ったものでございます。

車両につきましては、車体左後部のボンネット及び右側ガラスの破損となったものであります。

また、水道整備課職員の_____でございますが、人身の障害はございません。市有車の右側のフロントバンパー及びライトが破損したものでございます。

水道整備課からの報告は以上です。

○栗原委員長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 それでは、この件については終了いたします。

次に、閉会中所管事務調査についてを議題といたします。

本件につきましては、お手元に配付しました閉会中所管事務調査一覧表のとおり、当委員会から議長に対しまして申し出をしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

それでは、特に緊急の案件がない限り、今回が今年度最後の委員会になろうかと思っておりますので、今月末をもって退職されます飯村産業経済部長、吉川参事兼農政課長、後藤技監兼料金課長、小田木技監兼浄水管理事務所長、大峰農業技術センター所長、米川水道整備課長、小林給水課長の7名の方々から、それぞれ御挨拶をいただきたいと思っております。

初めに、飯村産業経済部長、お願いします。

○飯村産業経済部長 本日は、私たちのために貴重なお時間をいただきまして、退職の御挨拶をさせていただきますことを大変うれしく思っております。ありがとうございます。

私ごとですが、私は、昭和53年に旧内原町役場に採用となりまして、内原町役場に27年間、そして、市町村合併によりまして、平成17年から水戸市役所職員といたしまして11年間、合わせまして38年間勤務をさせていただきました。この間、合併後、都市建設委員会に3年、それから、文教福祉委員会には2年、こちらの産業水道委員会には最長6年間お世話になりまして、うち2年間は部長として、本会議のほうにも出させていただきまして。何分にも、実力が伴わずに、委員の皆様には多々御迷惑をおかけいたしましたことを改めておわびを申し上げたいと存じます。

今後は、一市民として市政の発展を見守ってまいる所存でございますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

結びに、これまで力不足の私を支えてくださいました同僚の皆様並びに、数々の御指導を賜りました議員の委員の皆様は今後ますますの御活躍、御健勝を御祈念申し上げまして、退職に当たりましての挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○栗原委員長 次に、吉川参事兼農政課長、お願いします。

○吉川産業経済部参事兼農政課長 産業水道委員会の皆様には、このような機会を設けていただきましてありがとうございます。

私は、農政課の課長として7年間、この委員会に所属させていただきました。この間、何とか無事に過ごすことができましたのも、委員の皆様方の御指導、御鞭撻のおかげと感謝しております。

4月からは地元に戻りまして、小さな田畑を耕す日々を過ごそうと思っております。

今後の皆様方のますますの御活躍をお祈りしております。長い間大変ありがとうございました。

○栗原委員長 次に、後藤技監兼料金課長、お願いします。

○後藤水道部技監兼料金課長 委員会の大変貴重な時間に退職の挨拶の機会をいただきまして、まことにありがとうございます。

私は、6年の間、委員会でお世話になりました。その間には、水道施設の維持管理や更新、そして水道料金の収納率向上に取り組んでまいりました。そして、水道料金につきましては、順調に収納率が向上しまして、目標を達成できたかなと考えているところでございます。これもひとえに、委員の皆様のお指導、御鞭撻のたまものと、心から感謝しているところでございます。

最後になりますけれども、委員の皆様の方の今後の御活躍と御健勝を御祈念申し上げまして、簡単ではございますが、退職に当たりましての挨拶とさせていただきます。大変お世話になりました。ありがとうございました。

○栗原委員長 次に、小田木技監兼浄水管理事務所長、お願いします。

○小田木水道部技監兼浄水管理事務所長 委員会の貴重な時間をいただきまして、まことにありがとうございます。

私、水戸市に奉職して以来、水道事業一筋に携わってきました。この間、上司、同僚、後輩たちに支えられ、大過なく退職できますことを、本当に幸せなことだと思っております。

また、委員会の委員の皆様方には、いろいろと御指導、御支援いただきまして、心より感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

今後におきましては、委員様方には体調管理に十二分に気をつけていただきまして、ますますの御活躍を御祈念申し上げまして、挨拶とかえさせていただきます。本当にありがとうございました。

○栗原委員長 次に、大峰農業技術センター所長、お願いします。

○大峰農業技術センター所長 退職に当たり、一言御挨拶申し上げます。

私は、昭和54年に採用となり、37年間勤めさせていただきました。そして、最後の4年間、産業水道委員会に出席をさせていただきました。この間、農業、植物公園事業に温かい御支援をいただきまして、本当にありがとうございました。

委員の皆様の方の今後の御活躍、御健勝をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

これまでの御厚情に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

○栗原委員長 次に、米川水道整備課長、お願いします。

○米川水道整備課長 退職に当たり、一言お礼を申し上げます。

私は、水戸市役所に奉職して37年間はたちますが、あっという間だったなという思いでいっぱいです。

水道部を初め6部に在籍し、その中で一貫して、建設関連の仕事に従事してきました。私にとって、この公共施設の建設に土木技師として携わることができたことは、大変幸せな市役所生活だったと思っております。

今、こうして無事に定年退職を迎えられることは、議員の皆様を初め、多くの上司や先輩、同僚に恵まれ

たおかげだと思っております。この場をおかりしまして、お礼を申し上げます。

簡単ではございますが、これで退職に当たっての私の挨拶とさせていただきます。長い間、本当にありがとうございました。

○栗原委員長 次に、小林給水課長、お願いします。

○小林給水課長 このような場を設定していただきまして、まことにありがとうございます。

私、38年とちょうど6カ月、職員生活を、あと1週間ですけれども、全うすることができます。ましてや、3年間という短い間でしたけれども、委員の皆様方に変にお世話になり、自分でも非常に勉強になりましたし、何と申しますか、議員さんと私と、人と人の触れ合いができたのかなと今思っております。

今後は、私は一市民に戻りますけれども、どうか27万水戸市民のために、お体に十分留意なされていただきまして、ますます市民のためにお仕事をしていただければありがたいと思います。

非常に貴重な時間をいただきまして、ありがとうございます。

○栗原委員長 それでは、委員会を代表いたしまして、私のほうから一言御挨拶を申し上げます。

ただいま御挨拶をいただきました7名の方々におかれましては、それぞれ長きにわたり、本市の発展と市民福祉向上のために御尽力され、立派にその重責を果たされたことについて、深い敬意と感謝の意をあらわすものであります。

どうぞこれからも、御健康に御留意されまして、本市の発展のために変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、本日の産業水道委員会を散会します。

御苦労さまでした。

午前10時52分 散会